

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			訓練指導室は62㎡あり十分な広さを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			原則として、児童2.5人に対し1名の指導員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			訓練指導室からトイレまではバリアフリーになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日ミーティングをして職員から意見を聞いている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者への評価表の配布のほか、ラインや電話で連絡をとっておりニーズに応えた業務改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			市の福祉課や相談支援専門員の意見を取り入れている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎週研修会を実地している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談支援員と連携をとり支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			キッズボンドグループで標準テンプレートがあり、そちらを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			原案を担当者が決め、職員の話し合いで決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員で話し合い個々に合わせた指導を実地している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日と学校休業日で支援内容は変えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童の状況保護者の意見を取り入れ作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			受け入れ前ミーティングは必ず行き、支援内容、役割分担を決め支援している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ミーティングを行い次の日の支援に繋がるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日個人記録を書き職員全員で共有している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回モニタリングを行い、必要であれば前倒しで行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			制作、食育、お出かけ、地域交流を軸として支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			まだ、行ける回数が少なくこちらからでも打診していきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者とは連絡帳、ライン等で連絡を取り合い、場合によっては学校との電話での対応を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在は医療的ケアを行う児童はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援事業所との連携があまり取れていないので、今後積極的に取って行きます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			学校を卒業し障害福祉サービス事業所へ移行する児童は現在いない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターとの連携が出来ていないので今後行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			現在健常児との交流が取れていないので今後取り組みたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			現在は出来ていないが今後行っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の連絡帳、電話、ライン、送迎時を通して共通認識を持っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			連絡帳、電話、ライン、送迎時を通してレスパイトケアを実施しているが十分ではない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			電話、送迎時、事業所内で助言、支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者の意見も取り入れどのように行えばよいか検討する。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合には担当指導員が、管理者、児発管に報告し、保護者と面談するなど迅速な対応をとっている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月通信を月初めに発行し、保護者に配布、HPにアップし活動の様子を伝え、翌月の活動予定も配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			重要書類は鍵付き書庫に厳重保管、HP上の写真はモザイクをかけている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			あいまいな表現は使わず、場合によっては視覚化し、意思の疎通を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在の段階ではできていないので、今後取り入れていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			書類にして周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	まだ、一度しか実施されてないので、今後定期的に行うよう検討していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎週1回の研修の中で定期的に取り上げている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束について保護者、児童に説明し、また、運営規定にも記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	医師の指示書は取っていないので、今後対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所だけでなく、グループ全体で共有している。